

# はじめ通信

HAJIME TSUSHIN

佐々木紀 後援会機関紙 Vol. 9

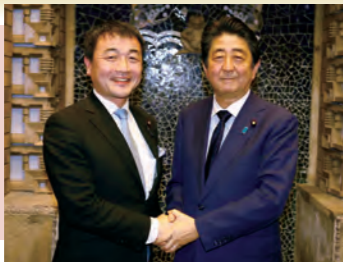


G20で各国の担当大臣がモニターを通じて会議



G20農業・水政策大臣のWEB会議に国交大臣代理として出席 (2020/9/12)

安倍総理  
お疲れさまでした



2012年12月の第2次安倍政権発足とともに国政の道を歩み始めた私は、安倍総理に折にふれてご鞭撻を賜り、南加賀の発展にも多大なお力添えをいただきました。心より感謝申し上げます、ご健康をお祈りいたします。

## 国土交通大臣 政務官の職責を終えて

衆議院議員 佐々木紀

世界中の人々を不安に陥れているコロナ禍、安倍総理の辞任表明による新たな菅政権のスタートなど、社会や政界に緊張感が続いています。私が国土交通大臣政務官を拝命して一年余り、このたびの内閣改造をもって退任いたしましたことをご報告するとともに、在任中に賜りましたご激励やご鞭撻に厚くお礼を申し上げます。

就任早々台風15号、19号が襲来。北陸新幹線が水没するといふショッキングな出来事もありました。昨年は災害が相次ぎ、復旧・復興対策の任務が絶えない一年でした。年が明けてからは新型コロナウイルス感染拡大防止対策と、事業の継続と雇用の維持が最大の政治課題となり、まさに国難との闘いでした。

### ● エッセンシャルワーカーに感謝

これまで「コロナ禍で犠牲になった方々に謹んで哀悼の意を表し、感染された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また医療や介護、物流や公共交通など国民生活の維持に不可欠な事業に従事する皆様(エッセンシャルワーカー)が、感染のリスクにさらされながらも激務に取り組みされていることに深く敬意と感謝の気持ちをお伝えたいと存じます。突然の経済状況の変化で、石川県内でも主に中小・小規模事業者の方々を中心に苦境に立たされていることは痛恨の極みです。これからの経済状況を注視し、必要な対策を的確迅速に実施していきます。「コロナの脅威を根本的に退ける手段が見つからない今、withコロナ社会における新しい生活様式を取り入れ、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図らなければなりません。」

### ● 一日も早いコロナ禍の収束を

政務官としての過密な日程に加え、移動の自粛により地元に戻る機会が限られてきたことを心苦しく思います。この紙面を通じて、日常生活の中で感染予防に努められている皆様の尊いご努力に感謝申し上げます、国政活動の一端をご報告させていただきます。一日も早くこの国難を乗り越えることができるよう頑張ります。



北陸新幹線復旧に関する谷本石川県知事の要望を受けて  
無量寺ふ頭改修とクルーズ船ターミナルの完成をもって、金沢港のハードの整備がほぼ終了しました。これからの活用をソフトパワーが求められます。



金沢港クルーズ船ターミナル視察



能越自動車道田鶴浜七尾道路起工  
この道路の開通により能登と関西・中京・首都圏を結ぶネットワークが完成。ミッシングリンク解消に向け大きく前進しました。



金沢外環状道路海側幹線の要望  
靱月～大河端間、福久～今町間の本線部の事業化を実現。大河端～福久間の令和4年度中(2023年3月末迄)の暫定供用を発表(開通時期を決めました)。

「地方の力が国を支える」  
その変わらぬ信念とともに。

全国を奔走する時間をめつて  
地元にも目配りしています。

東京一極集中に終止符を！

～ふるさとの成長が日本の力～



NASVA療護施設視察  
野々市市にある日本海側初となる交通事故重度後遺障害者の委託病床を視察しました。



手取川河口付近堆積土砂大規模浚渫工事  
この工事により、美川漁港への船の出入りがスムーズになりました。



小松白川連絡道路の中央要望  
2019年8月期成同盟会を改組し、私が会長に就任。政務官就任後に、ルート等検討会を設置し、事業化までのプロセスを見える化しました。



小松空港のコンセッションに向けて  
小松空港は近い将来にエアターミナルビルの改築や機能強化などが必要となります。日本海側の拠点空港として民間投資を促すためのコンセッションに向けた資産調査(チューデリ)に着手しました。



手取川水系西川・熊田川  
政務官就任を機に期成同盟会が設立され、手取川との合流部に約50億円をかけて、逆流防止の樋門を設置することを決定。おおむね10年での完成をめざします。

### 編集後記

令和が始まった去年の明るいムードが一変、未曾有の困難に直面する年となっています。政務官としての佐々木紀代議士は人の命を守り、人の苦難の時に寄り添って奔走した1年でした。国政報告の機会を設けることも難しい昨今、本紙の役割の大きさを痛感しつつご報告させていただきます。

令和元年12月  
小松事務所を  
移転しました

小松空港よりJR小松駅方面に向かう  
大通りの建物の2階です。  
お気軽にお立ち寄りください。

【新住所】  
〒923-0941  
小松市城南町35番地  
TEL 0761-21-1181  
FAX 0761-21-1172  
(TEL・FAXは変わりません)

## 被災地の復旧・復興をめざして



▶ 土砂災害現場視察(宮城県・2019/12/20)



▶ 台風15号による千葉県での大規模停電に対する災害支援対策 局長連絡会議(2019/9/13)

災害担当の政務官として多くの自然災害に対応しました。災害発生時には、省内にある防災センターで、刻一刻と変わる各地の被害状況の整理を行い、迅速な復旧・支援体制の構築を指示していきます。また被災現場に足を運び、実際に被災された方の声を直に聞くことで、現場に寄り添った対応ができるものと考えております。

## 公務レクチャーが執務の原点



▶ 鉄道局レクチャー(2020/9/2)

国交省所管の法案や制度についてはもちろんのこと、要望対応や国会答弁、公務会議などの前には必ずレクチャーを受けます。これは政府としての立場や姿勢を確認し、出来る限り正確な受け答えをするために行うものです。地方の声や国民の意思を政策に反映させる場でもあります。

災害にも負けず

ウイルスにも負けず

# 国土交通大臣 政務官 佐々木はじめの

# 370日

強い国土づくり、住みよいふるさと創生は政治家の責任です。相次ぐ災害に向けた支援、新型コロナウイルスへの対策などで奔走しながら、多数の政策実現に取り組んだ1年余り。政務官としての国政活動の一端をご報告します。



### ■データに見る公務の足跡

- 公務レクチャー ..... 約460回
- 公務視察/出張 ..... 約41回
- 公務会議 ..... 約180回
- 委員会答弁 ..... 19回
- 要望への対応 ..... 約130回
- 国交大臣政務官としての在京当番 ..... 延べ1,250時間25分

## コロナ禍と闘って



▶ WEB会議の導入

コロナ禍によって、これまでなかなか進まなかったデジタル化や、時差出勤、リモートワークが進みました。

### 台湾、ベトナムとの絆で送られた物資(2020/5/15)

コロナ禍が発生後、佐々木代議士のもとに日本で不足していたマスクや防護服が海外から送られてきました。青年局長時代に築いた台湾やベトナムの人たちとの絆によるもので、送られた品は石川県や国に届けられました。



▶ 観光産業議連拡大役員会(2020/6/25)

旅館、ホテルをはじめ交通事業者や飲食業界などの観光産業に従事される方のお声を拝聴して、雇用調整助成金や持続化給付金などの充実といった経済・雇用対策に関する要望を実現し、GoToキャンペーン等の需要喚起策を強く推し進めました。石川県においても、各種イベントや祭りの復活とともに感染拡大防止と社会経済活動の再開に向けて、早急な対策が必要です。

## 現場主義を貫く

国交省は陸(道路や鉄道)、海(港や船、海上保安)、空(空港や管制)の国民生活を支える部署を所管しています。現場力の国交省の強みです。



▶ 現場を支える皆様を表彰(2019/10/11)

全国6万人におよぶ国交省職員を激励 全国9か所の国交省地方部局をすべて訪問、激励しました。 ※写真は九州運輸局



## 質問者から答弁者に立場が一変



▶ 災害対策特別委員会での答弁(2019/10/1)

▶ 軽井沢スキーバス事故現場で献花(2020/1/15)

